

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学 I	[数学]

科目目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

履修学科	普通科
履修学年	第1学年
履修単位	数学 I (3)
教科書	改訂版 数学 I Standard (東京書籍)
副教材	スタディサプリ

学期	考査	単元名 (考査範囲)	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1学期	単元テスト	1章 数と式 1節 式の計算 2節 実数 3節 1次方程式	<ul style="list-style-type: none"> 展開、因数分解 実数、根号を含む式の計算 不等式と1次不等式、不等式の応用 	○	○	○
	期末考査	2章 集合と論証 1節 集合 2節 命題と論証 3章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 2節 2次方程式と2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> 集合 命題と条件、論証 2次関数、2次関数の最大・最小、2次関数の決定 2次関数のグラフとx軸の共有点、2次関数のグラフとx軸の共有点の個数、2次不等式 	○	○	○
<p>SDG's番号4：質の高い教育をみんなに 購入率が販売価格にもなって一定に変化するとき、販売価格と売り上げの関係が2次関数で表されることを理解し、価格決定の際に関数の最大・最小の概念が用いられることを理解する。</p>						
2学期	中間考査	4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比 2節 三角比の拡張 3節 三角形への応用	<ul style="list-style-type: none"> 直角三角形と三角比、三角比の相互関係 三角比と座標、三角比の性質 正弦定理・余弦定理・面積の公式、空間図形の計量 	○	○	○
	期末考査	5章 データの分析 1節 データの分析 2節 データの分析の応用 3節 仮説検定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> データの散らばり、データの相関 データの分析を利用した問題解決 仮説検定の考え方 	○	○	○
<p>SDGs番号17：パートナーシップで目標を達成しよう 代表値や分散・標準偏差などデータを評価する際に用いられる値がどのような意味をなすのか理解する。さらに、データを分析する手法を学ぶことでSDGsの達成を測るにはどのようなデータを測定すれば良いかを考える素養を養う。</p>						
【数学Ⅱへ移行】						

評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 数理的に考察し処理することのよさや既習事項などを体系的に整理し活用できる。 ・ 構成した数学的知識の意味を考、見出した数学的知識をいろいろな場面に活用できる。 ・ 文化や社会生活において数学が果たしている役割などを理解している。 <p>【評価の対象】</p> <p>定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的な見方や考え方のよさを認識できる。 ・ 自らの思考過程を振り返りながらより発展的に考え一般化して問題の本質を探ることができる。 <p>【評価の対象】</p> <p>定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多面的にもものを見たり、理論性のあるいろいろな考えに触れたり、試行錯誤しながら考え、主体的に数学的な見方や考え方のよさを学ぼうとする。 ・ 身近な事象を数学化し、積極的に数学を活用しようとする。 <p>【評価の対象】</p> <p>提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

授業を受ける際の注意事項等

- 1 授業に主体的に参加する。
問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。
- 2 課題に一生懸命に取り組む。
課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。
- 3 「分からない」をそのままにしない。
分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。
- 4 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学Ⅱ	[数学]

履修学科	普通科
履修学年	第1学年
履修単位	数学Ⅱ(1)
教科書	数学Ⅱ Standard (東京書籍)
副教材	スタディサプリ

科目目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

学期	考査	単元名 (考査範囲)	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
3 学期	学 年 末 考 査	1章 方程式・式と証明 1節 多項式・分数式の計算	・多項式の乗法と因数分解、二項定理、多項式の除法			
		2節 2次方程式 3節 高次方程式 4節 式と証明	・複素数とその計算、解の公式、解と係数の関係 ・因数定理と簡単な高次方程式 ・恒等式、不等式の証明	○	○	○
SDG's番号4：質の高い教育をみんなに 高次方程式の解を実数から複素数へ広げることで、数の概念を拡張するとともに、以前の学習内容からさらに高い次元で計算ができることを理解する。						

評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 数理的に考察し処理することのよさや既習事項などを体系的に整理し活用できる。 ・ 構成した数学的知識の意味を考、見出した数学的知識をいろいろな場面に活用できる。 ・ 文化や社会生活において数学が果たしている役割などを理解している。 <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的な見方や考え方のよさを認識できる。 ・ 自らの思考過程を振り返りながらより発展的に考え一般化して問題の本質を探ることができる。 <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多面的にものを見たり、理論性のあるいろいろな考えに触れたり、試行錯誤しながら考え、主体的に数学的な見方や考え方のよさを学ぼうとする。 ・ 身近な事象を数理化し、積極的に数学を活用しようとする。 <p>【評価の対象】 提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

授業を受けるときの注意事項等

- 1 授業に主体的に参加する。
問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。
- 2 課題に一生懸命に取り組む。
課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。
- 3 「分からない」をそのままにしない。
分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。
- 4 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します。

勉強の仕方

授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。例題を見なくても練習問題ができるように、特に典型的な問題、基礎的・基本的な問題は正しい解答をかけるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学A	[数学]

履修学科	普通科
履修学年	第1学年
履修単位	数学A(1)
教科書	改訂版 数学A Standard (東京書籍)
副教材	スタディサプリ

科目目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

学期	考査	単元名(考査範囲)	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1学期	単元テスト	1章 場合の数と確率 1節 集合と場合の数 2節 確率とその基本性質	<ul style="list-style-type: none"> 数え上げの原則と集合の要素の個数、順列、組合せ 事象と確率、確率の基本性質 	○	○	○
	期末考査	SDGs 番号4：質の高い教育をみんなに 仕事をするうえで効率よく場合の数を数えることは必要不可欠である。本単元において、集合の概念を理解し、さまざまな場合の数を計算により効率よく求められるようにする。				
2学期	中間考査	3節 いろいろな確率	<ul style="list-style-type: none"> 独立な試行の確率、反復試行の確率 条件付き確率、期待値 	○	○	○
	期末考査	SDGs 番号4：質の高い教育をみんなに ものごとの損得を考える基盤となる期待値の概念を導入することで、客観的に比較し、評価できる技能や態度を養う。				
3学期	期末考査	2章 図形の性質 1節 三角形と比 2節 円の性質	<ul style="list-style-type: none"> 三角形と比、三角形の外心・内心・重心 三角形の比の定理 円の性質、方べきの定理、2つの円作図の方法の考察 	○	○	○
	学年末考査	3節 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> 空間における2直線・2平面の関係 直線と平面の関係 	○	○	○

評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 数理的に考察し処理することのよさや既習事項などを体系的に整理し活用できる。 ・ 構成した数学的知識の意味を考、見出した数学的知識をいろいろな場面に活用できる。 ・ 文化や社会生活において数学が果たしている役割などを理解している。 <p>【評価の対象】</p> <p>定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的な見方や考え方のよさを認識できる。 ・ 自らの思考過程を振り返りながらより発展的に考え一般化して問題の本質を探ることができる。 <p>【評価の対象】</p> <p>定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多面的にものを見たり、理論性のあるいろいろな考えに触れたり、試行錯誤しながら考え、主体的に数学的な見方や考え方のよさを学ぼうとする。 ・ 身近な事象を数理化し、積極的に数学を活用しようとする。 <p>【評価の対象】</p> <p>提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

<p>授業を受ける際の注意事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業に主体的に参加する。 問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。 2 課題に一生懸命に取り組む。 課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。 3 「分からない」をそのままにしない。 分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。 4 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します。 <p>勉強の仕方</p> <p>授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。例題を見なくても練習問題ができるように、特に典型的な問題、基礎的・基本的な問題は正しい解答をかけるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。</p>
--

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学 I	[数学]

科目目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

履修学科	総合学科
履修学年	第1学年
履修単位	数学 I (3)
教科書	高校数学 I 新訂版 (実教出版)
副教材	高校数学 I スタディノート スタディサプリ

学期	考查	単元名 (考查範囲)	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1 学期	単元テスト	1 章 数と式 1 節 整式 2 節 実数 3 節 方程式と不等式	<ul style="list-style-type: none"> 文字を使った式のきまり、整式、整式の加法・減法、整式の乗法、乗法公式による展開、因数分解 平方根とその計算、実数 1 次方程式、不等式、不等式の性質、1 次不等式連立不等式、不等式の利用 	○	○	○
	期末考查	2 章 2 次関数 1 節 関数とグラフ 2 節 2 次関数の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> 1 次関数とそのグラフ、2 次関数とそのグラフ 2 次関数の最大値・最小値 2 次関数のグラフと 2 次方程式 2 次関数のグラフと 2 次不等式 	○	○	○
2 学期	中間考查	3 章 三角比 1 節 三角比 2 節 三角比の応用	<ul style="list-style-type: none"> 三角形、三角比、三角比の利用、三角比の相互関係 三角比の拡張、三角形の面積、正弦定理、余弦定理 正弦定理と余弦定理の利用 	○	○	○
	期末考查	4 章 集合と論証 1 節 集合と論証	<ul style="list-style-type: none"> 集合と要素、命題、いろいろな証明法 	○	○	○
3 学期	学年末考查	5 章 データの分析 1 節 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> 統計とグラフ、度数分布表とヒストグラム、代表値 データの散らばり、外れ値、相関係数、仮説検定の考え 	○	○	○

SDGs 番号 4.質の高い教育をみんなに 番号 17 パートナーシップで目標を達成しよう
既習事項を活用し、演習問題に取り組み、生徒同士が教え合う事で知識の共有を進める。そうすることで、計算の能力や、論理的思考を育む。また、高等教育を受けることのできる能力を身につけさせる。

評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 数理的に考察し処理することのよさや既習事項などを体系的に整理し活用できる。 ・ 構成した数学的知識の意味を考、見出した数学的知識をいろいろな場面に活用できる。 ・ 文化や社会生活において数学が果たしている役割などを理解している。 <p>【評価の対象】</p> <p>定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的な見方や考え方のよさを認識できる。 ・ 自らの思考過程を振り返りながらより発展的に考え一般化して問題の本質を探ることができる。 <p>【評価の対象】</p> <p>定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多面的にものを見たり、理論性のあるいろいろな考えに触れたり、試行錯誤しながら考え、主体的に数学的な見方や考え方のよさを学ぼうとする。 ・ 身近な事象を数学化し、積極的に数学を活用しようとする。 <p>【評価の対象】</p> <p>提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

<p>授業を受けるときの注意事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業に主体的に参加する。 問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。 2 課題に一生懸命に取り組む。 課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。 3 「分からない」をそのままにしない。 分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。 4 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します。 <p>勉強の仕方</p> <p>授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。例題を見なくても練習問題ができるように、特に典型的な問題、基礎的・基本的な問題は正しい解答をかけるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。</p>

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学A	[数学]

科目目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

履修学科	総合学科
履修学年	第1学年
履修単位	数学A(2)
教科書	高校数学A 新訂版 (実教出版)
副教材	高校数学Aスタディノート スタディサプリ

学期	考査	単元名(考査範囲)	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1学期	単元テスト	1章 場合の数と確率 1節 場合の数	・集合と要素、集合の要素の個数、場合の数 順列、組合せ	○	○	○
	期末考査	2節 確率	・事象と確率、いろいろな事象の確率 独立な試行とその確率、反復試行とその確率 条件付き確率、期待値	○	○	○
SDGs 番号4：質の高い教育をみんなに 仕事をするうえで効率よく場合の数を数えることは必要不可欠である。本単元において、集合の概念を理解し、さまざまな場合の数や確率を効率よく求められるようにする。						
2学期	中間考査	2章 図形の性質 1節 三角形の性質	・三角形の角、三角形と線分の比、 三角形の外心・内心・重心	○	○	○
	期末考査	2節 円の性質 3節 作図	・円周角、円と四角形、円の接線、方べきの定理 2つの円 ・基本の作図、いろいろな作図、 三角形の外心・内心・重心の作図	○	○	○
SDGs 番号4.質の高い教育をみんなに 番号17 パートナリーシップで目標を達成しよう 既習事項を活用し、演習問題に取り組み、生徒同士が教え合う事で知識の共有を進める。そうすることで、計算の能力や、論理的思考を育む。また、高等教育を受けることのできる能力を身につけさせる。						
3学期	学年末考査	4節 空間図形	・空間における直線と平面、多面体	○	○	○

評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 数理的に考察し処理することのよさや既習事項などを体系的に整理し活用できる。 ・ 構成した数学的知識の意味を考、見出した数学的知識をいろいろな場面に活用できる。 ・ 文化や社会生活において数学が果たしている役割などを理解している。 <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的な見方や考え方のよさを認識できる。 ・ 自らの思考過程を振り返りながらより発展的に考え一般化して問題の本質を探ることができる。 <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多面的にものを見たり、理論性のあるいろいろな考えに触れたり、試行錯誤しながら考え、主体的に数学的な見方や考え方のよさを学ぼうとする。 ・ 身近な事象を数学化し、積極的に数学を活用しようとする。 <p>【評価の対象】 提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

授業を受ける際の注意事項等

- 1 授業に主体的に参加する。
問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。
- 2 課題に一生懸命に取り組む。
課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。
- 3 「分からない」をそのままにしない。
分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。
- 4 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学Ⅱ	[数学]

履修学科	普通科 文系
履修学年	第2学年
履修単位	数学Ⅱ(3)
教科書	数学Ⅱ Standard (東京書籍)
副教材	スタディサプリ

科目目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

学期	考查	単元名 (考查範囲)	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1学期	単元テスト	2章 図形と方程式 1節 点と直線 2節 円 3節 軌跡と方程式	<ul style="list-style-type: none"> 2点間の距離、内分点、外分点、直線の方程式 円の方程式、円と直線 軌跡とその方程式、不等式の表す領域 	○	○	○
	期末考查	3章 三角関数 1節 三角関数 2節 加法定理	<ul style="list-style-type: none"> 一般角と弧度法、三角関数、三角関数の性質、三角関数のグラフ、三角関数を含む方程式・不等式 加法定理とその応用 三角関数の合成 	○	○	○
		SDGs 番号 9.産業と技術革新の基盤を作ろう 回転運動や波動など、さまざまな科学研究の基礎となる概念を理解させる。また、測量など、日常生活で三角関数を利用する場面をあげる。そうすることで、科学研究の発展やインフラ整備のために必要となる基礎的な能力を身につける。				
2学期	中間考查	4章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 2節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> 指数の拡張、指数関数とそのグラフ 対数とその性質、対数関数とそのグラフ 常用対数 	○	○	○
	期末考査	5章 微分と積分 1節 微分の考え 2節 積分の考え	<ul style="list-style-type: none"> 導関数、導関数の計算、関数のグラフと増減 原始関数、定積分、面積 	○	○	○
3学期	学年末考査	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項 	○	○	○
		SDGs 番号 4.質の高い教育をみんなに 既習事項を活用し、演習問題に取り組みさせる。そうすることで、社会生活に必要な計算の能力や、論理的思考を育む。また、高等教育を受けることのできる能力水準に近づける。		○	○	○

評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>【評価の対象】 提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
<p>授業を受ける際の注意事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業に主体的に参加する。 問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。 2 課題に一生懸命に取り組む。 課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。 3 「分からない」をそのままにしない。 分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。 4 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します。 <p>勉強の仕方</p> <p>授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。例題を見なくても練習問題ができるように、特に典型的な問題、基礎的・基本的な問題は解法ごと暗記できるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。</p>

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学 A	[数学]

履修学科	普通科 文系
履修学年	第2学年
履修単位	数学A(1)
教科書	改訂版 数学A Standard (東京書籍)
副教材	スタディサプリ

科目目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

学期	考查	単元名 (考查範囲)	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
3学期	学年末考查	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> SDGs 番号 4.質の高い教育をみんなに 既習事項を活用し、演習問題に取り組ませる。そうすることで、社会生活に必要な計算の能力や、論理的思考を育む。また、高等教育を受けることのできる能力を身につけさせる。 </div>	・数学 I・II・A・Bの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項	○	○	○

評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を養う。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
<p>授業を受ける際の注意事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業に主体的に参加する。 問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。 2 課題に一生懸命に取り組む。 課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。 3 「分からない」をそのままにしない。 分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。 4 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します。 <p>勉強の仕方</p> <p>授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。例題を見なくても練習問題ができるように、特に典型的な問題、基礎的・基本的な問題は解法ごと暗記できるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。</p>

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学B	[数学]

履修学科	普通科 文系
履修学年	第2学年
履修単位	数学B(1)
教科書	数学B Standard (東京書籍)
副教材	スタディサプリ

科目目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

学期	考査	単元名 (考査範囲)	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1学期	単元テスト	第1章 数列 1節 数列	・数列、等差数列、等差数列の和、等比数列 等比数列の和	○	○	○
	期末考査	2節 いろいろな数列 3節 漸化式と数学的帰納法	・数列の和と記号 Σ 、いろいろな数列 ・漸化式、数学的帰納法	○	○	○
2学期	中間考査	2章 統計的な推測 1節 標本調査 2節 確率分布 3節 正規分布	・母集団と標本 ・確率分布、確率変数の平均と分散の性質 確率変数の和と積、二項分布 ・正規分布	○	○	○
	期末考査	4節 統計的な推測 SDGs 番号4.質の高い教育をみんなに 既習事項を活用し、統計的な推測ができるようにする。そうすることで、 社会生活に必要な計算の能力や、データを分析する能力を育む。また、高 等教育を受けることのできる能力水準に近づける。	・母平均の推定、仮説検定	○	○	○
3学期	学年末考査	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習	・数学I・II・A・Bの教科書の例題相等の 基礎、応用、発展事項	○	○	○

評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>【評価の対象】 提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
<p>授業を受ける際の注意事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業に主体的に参加する。 問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。 2 課題に一生懸命に取り組む。 課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。 3 「分からない」をそのままにしない。 分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。 4 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します。 <p>勉強の仕方</p> <p>授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。例題を見なくても練習問題ができるように、特に典型的な問題、基礎的・基本的な問題は解法ごと暗記できるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。</p>

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学Ⅱ	[数学]

科目目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

履修学科	普通科 理系
履修学年	第2学年
履修単位	数学Ⅱ (3)
教科書	数学Ⅱ Standard (東京書籍)
副教材	スタディサプリ

学期	考査	単元名 (考査範囲)	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1学期	単元テスト	2章 図形と方程式 1節 点と直線 2節 円 3節 軌跡と方程式	<ul style="list-style-type: none"> 2点間の距離、内分点、外分点、直線の方程式 円の方程式、円と直線 軌跡とその方程式、不等式の表す領域 	○	○	○
	期末考査	3章 三角関数 1節 三角関数 2節 加法定理	<ul style="list-style-type: none"> 一般角と弧度法、三角関数、三角関数の性質、三角関数のグラフ、三角関数を含む方程式・不等式 加法定理とその応用 三角関数の合成 	○	○	○
2学期	中間考査	4章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 2節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> 指数の拡張、指数関数とそのグラフ 対数とその性質、対数関数とそのグラフ 常用対数 	○	○	○
		5章 微分と積分 1節 微分の考え	<ul style="list-style-type: none"> 導関数、導関数の計算、関数のグラフと増減 			
	期末考査	2節 積分の考え 【数学Ⅲへ移行】	<ul style="list-style-type: none"> 原始関数、定積分、面積 	○	○	○
		<p>SDGs 番号 9.産業と技術革新の基盤を作ろう 回転運動や波動など、さまざまな科学研究の基礎となる概念を理解させる。また、測量など、日常生活で三角関数を利用する場面をあげる。そうすることで、科学研究の発展やインフラ整備のために必要となる基礎的な能力を身につける。</p>				
		<p>SDGs 番号 4.質の高い教育をみんなに 既習事項を活用し、微分・積分の概念を理解させる。そうすることで、高等教育を受けることのできる能力水準に近づける。</p>				

評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>【評価の対象】 提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

授業を受ける際の注意事項等

- 1 授業に主体的に参加する。
問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。
- 2 課題に一生懸命に取り組む。
課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。
- 3 「分からない」をそのままにしない。
分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。
- 4 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します。

勉強の仕方

授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。例題を見なくても練習問題ができるように、特に典型的な問題、基礎的・基本的な問題は解法ごと暗記できるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学Ⅲ	[数学]

科目目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

履修学科	普通科 理系
履修学年	第2学年
履修単位	数学Ⅲ (1)
教科書	数学Ⅲ Standard (東京書籍)
副教材	スタディサプリ

学期	考查	単元名 (考查範囲)	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	
2 学期	期末考查	1 章 関数と極限 1 節 関数	<ul style="list-style-type: none"> 分数関数とそのグラフ、無理関数とそのグラフ、逆関数と合成関数 数列の極限、無限等比数列、無限級数 いろいろな関数と極限、関数の連続性 	○	○	○	
		2 節 数列の極限 3 節 関数の極限					
3 学期	学年末考查	2 章 微分 1 節 微分法	<ul style="list-style-type: none"> 導関数、積・商の微分法、合成関数の微分法 三角関数の導関数、対数関数・指数関数の導関数 高次導関数 	○	○	○	
		2 節 いろいろな関数の導関数					
		3 章 微分の応用 1 節 関数の増減 2 節 微分のいろいろな応用	<ul style="list-style-type: none"> 接線の方程式、関数の増減、第2次導関数とグラフ 最大・最小、方程式・不等式への応用 速度・加速度、近似値 				
		SDGs 番号 4.質の高い教育をみんなに 既習事項を活用し、微分・積分の概念を理解させる。そうすることで、高等教育を受けることのできる能力水準に近づける。					

評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>【評価の対象】 提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

<p>授業を受ける際の注意事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業に主体的に参加する。 問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。 2 課題に一生懸命に取り組む。 課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。 3 「分からない」をそのままにしない。 分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。 4 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します。 <p>勉強の仕方</p> <p>授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。例題を見なくても練習問題ができるように、特に典型的な問題、基礎的・基本的な問題は解法ごと暗記できるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。</p>
--

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学B	[数学]

履修学科	普通科 理系
履修学年	第2学年
履修単位	数学B (2)
教科書	数学B Standard (東京書籍)
副教材	スタディサプリ

科目目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

学期	考査	単元名 (考査範囲)	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1学期	単元テスト	1章 数列 1節 数列 2節 いろいろな数列 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> SDGs 番号 4.質の高い教育をみんなに 番号 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 既習事項を活用し、演習問題に取り組み、生徒同士が教え合う事で知識の共有を進める。そうすることで、計算の能力や、論理的思考を育む。また、高等教育を受けることのできる能力を身につけさせる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 数列、等差数列、等差数列の和、等比数列、等比数列の和 数列の和と記号Σ、いろいろな数列 漸化式、数学的帰納法 	○	○	○
	期末考査	3節 漸化式と数学的帰納法 2章 統計的な推測 1節 標本調査 2節 確率分布	<ul style="list-style-type: none"> 漸化式、数学的帰納法 母集団と標本 確率分布、確率変数の平均と分散の性質、確率変数の和と積、二項分布 	○	○	○
2学期	中間考査	3節 正規分布 4節 統計的な推測 【数学Ⅲへ移行】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> SDGs 番号 4.質の高い教育をみんなに 既習事項を活用し、統計的な推測ができるようにする。そうすることで、社会生活に必要な計算の能力や、データを分析する能力を育む。また、高等教育を受けることのできる能力水準に近づける。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 正規分布 母平均の推定、仮説検定 	○	○	○

評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>【評価の対象】 提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

授業を受ける際の注意事項等

- 1 授業に主体的に参加する。
問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。
- 2 課題に一生懸命に取り組む。
課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。
- 3 「分からない」をそのままにしない。
分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。
- 4 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します。

勉強の仕方

授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。例題を見なくても練習問題ができるように、特に典型的な問題、基礎的・基本的な問題は解法ごと暗記できるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス

数学Ⅱ

[数学]

科目目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

履修学科	総合学科
履修学年	第2学年
履修単位	数学Ⅱ (2)
教科書	高校数学Ⅱ (実教出版)
副教材	高校数学Ⅱ スタディノート スタディサプリ

学期	考査	単元名 (考査範囲)	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1学期	単元テスト	第1章 複素数と方程式 1節 式の計算	・ 整式の乗法、因数分解、二項定理、分数式	○	○	○
	期末考査	2節 複素数と2次方程式 3節 高次方程式 4節 式と証明	・ 複素数、2次方程式、解と係数の関係 ・ 整式の除法、剰余の定理と因数定理、高次方程式 ・ 等式の証明、不等式の証明	○	○	○
SDGs 番号 4.質の高い教育をみんなに 番号 17 パートナースHIPで目標を達成しよう 既習事項を活用し、演習問題に取り組み、生徒同士が教え合う事で知識の共有を進める。そうすることで、計算の能力や、論理的思考を育む。また、高等教育を受けることのできる能力を身につけさせる。						
2学期	中間考査	第2章 図形と方程式 1節 点と座標 2節 直線の方程式	・ 直線上の点の座標と内分・外分、平面上の点の座標と内分・外分 ・ 直線の方程式、2直線の関係	○	○	○
	期末考査	3節 円の方程式 4節 不等式の表す領域	・ 円の方程式、円と直線の関係、軌跡 ・ 円で分けられる領域、直線で分けられる領域、連立不等式の表す領域	○	○	○
SDGs 番号 4.質の高い教育をみんなに 番号 17 パートナースHIPで目標を達成しよう 既習事項を活用し、演習問題に取り組み、生徒同士が教え合う事で知識の共有を進める。そうすることで、計算の能力や、論理的思考を育む。また、高等教育を受けることのできる能力を身につけさせる。						

3 学期	学 年 末 考 査	第3章 いろいろな関数	・一般角、三角関数、三角関数の相互関係、三角関数の性質、三角関数のグラフ	○	○	○
		1節 三角関数				

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>複素数と方程式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考え方についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>【評価の対象】 提出物、主体的に授業に臨む態度 グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
<p>授業を受ける際の注意事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業に主体的に参加する。 問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。 先生の説明をよく聞き、板書をしっかりとる。 授業のなかで理解できるよう努める。 苦手意識をもつ生徒は予習をして、授業に臨みましょう。 2 課題に一生懸命に取り組む。 宿題は必ず行い、理解できるよう努力しましょう。 課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。 3 「分からない」をそのままにしない。 分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。 4 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学B	[数学]

科目目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

履修学科	普通科 文系
履修学年	第3学年
履修単位	数学B(3)
教科書	数学B Standard (実教出版)
副教材	スタディサプリ

学期	考査	単元名 (考査範囲)	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1学期	単元テスト	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習	・数学I・II・A・Bの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項	○	○	○
	期末考査	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習 SDGs 番号 4.質の高い教育をみんなに 既習事項を活用し、演習問題に取り組みさせる。そうすることで、社会生活で必要な計算の能力や、論理的思考を育む。また、高等教育を受けることのできる能力を身につけさせる。	・数学I・II・A・Bの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項	○	○	○
2学期	中間考査	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習	・数学I・II・A・Bの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項	○	○	○
	期末考査	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習	・数学I・II・A・Bの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項	○	○	○
3学期	卒業考査	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習	・数学I・II・A・Bの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項	○	○	○

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<p>数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の課程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績の付けかた）

- 1 学習習慣を確立する。
学校だけでなく自宅での学習も怠らず取り組むようにしましょう。
- 2 授業に主体的に参加する。
問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。
- 3 課題に一生懸命に取り組む。
課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。
- 4 「分からない」をそのままにしない。
分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。
- 5 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します。

勉強の仕方

授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。解答を見なくても答案が再現できるように、特に典型的、基礎的・基本的な問題は解法ごと暗記できるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学C	[数学]

科目目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

履修学科	普通科 文系
履修学年	第3学年
履修単位	数学C(2)
教科書	数学C Standard (東京書籍)
副教材	スタディサプリ

学期	考查	単元名 (考查範囲)	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1学期	単元テスト	1章 ベクトル 1節 平面上のベクトル 2節 ベクトルの応用	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの意味、ベクトルの加法・減法・実数倍、ベクトルの成分、ベクトルの内積、位置ベクトル、ベクトル方程式 	○	○	○
	期末考查	3節 空間におけるベクトル	<ul style="list-style-type: none"> 空間における座標、空間におけるベクトル、位置ベクトルと空間の図形 	○	○	○
2学期	中間考查	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 数学I・II・A・Bの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項 	○	○	○
	期末考查	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 数学I・II・A・Bの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項 	○	○	○
3学期	卒業考查	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 数学I・II・A・Bの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項 	○	○	○

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<p>ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・英領・的確に表現する力を養う。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>【評価の対象】 提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績の付けかた）

- 1 学習習慣を確立する。
学校だけでなく自宅での学習も怠らず取り組むようにしましょう。
- 2 授業に主体的に参加する。
問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。
- 3 課題に一生懸命に取り組む。
課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。
- 4 「分からない」をそのままにしない。
分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。
- 5 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します。

勉強の仕方

授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。解答を見なくても答案が再現できるように、特に典型的、基礎的・基本的な問題は解法ごと暗記できるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学Ⅲ	[数学]

履修学科	普通科 理系
履修学年	第3学年
履修単位	数学Ⅲ (3)
教科書	数学ⅢStandard (東京書籍)
副教材	スタディサプリ

科目目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

学期	考査	単元名 (考査範囲)	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1学期	単元テスト	2章 微分 1節 微分法 2節 いろいろな関数の導関数	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数と導関数、導関数の計算 いろいろな関数の導関数、第n次導関数、曲線の方程式と導関数 	○	○	○
	期末考査	3章 微分の応用 1節 関数の増減 2節 微分のいろいろな応用 4章 積分とその応用 1節 不定積分	<ul style="list-style-type: none"> 接線の方程式、平均値の定理、関数の値の変化、関数のグラフ 方程式・不等式への応用、速度と加速度、近似式 不定積分とその基本性質、置換積分法と部分積分法、いろいろな関数の不定積分 	○	○	○
2学期	中間考査	2節 定積分 3節 面積・体積・長さ SDG's 番号9：産業と技術革新の基盤をつくろう 人工衛星の軌道の計算や携帯電話の技術などさまざまな分野や産業で微分積分の考え方が使われていることを理解し、微分積分を生かせるような技術や技能、態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 定積分とその基本性質、置換積分法と部分積分法、定積分のいろいろな問題 面積、体積、道のり、曲線の長さ 	○	○	○
	期末考査	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Cの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項 	○	○	○
3学期	卒業考査	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Cの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項 	○	○	○

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断 ③技能・表現 ④知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<p>極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度、事故の学習を振り返って評価・改善しようとする態度等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
<ol style="list-style-type: none"> 1 学習習慣を確立する。 学校だけでなく自宅での学習も怠らなく取り組むようにしましょう。 2 授業に主体的に参加する。 問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。 3 課題に一生懸命に取り組む。 課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大切です。 4 「分からない」をそのままにしない。 分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。 5 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します。 <p>勉強の仕方 授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。解答を見なくても答案が再現できるように、特に典型的、基礎的・基本的な問題は解法ごと暗記できるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。</p>

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学A	[数学]

履修学科	普通科 理系
履修学年	第3学年
履修単位	数学A (1)
教科書	改訂版 数学A Standard (東京書籍)
副教材	スタディサプリ

科目目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

学期	考査	単元名 (考査範囲)	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1学期	単元テスト	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習	・数学I・II・A・Bの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項	○	○	○
1学期	期末考査	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習	・数学I・II・A・Bの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項	○	○	○
2学期	中間考査	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習	・数学I・II・A・B・Cの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項	○	○	○
	期末考査	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>SDG's 番号 17 : パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>これまでに学習した内容を基に、さまざまな分野の考え方を組み合わせ、課題の解決に必要な情報を見つけ出せるような知識や技能を身に付ける。</p> </div>	○	○	○
3学期	卒業考査	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習	・数学I・II・III・A・B・Cの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項	○	○	○

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断 ③技能・表現 ④知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<p>図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を養う。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>【評価の対象】 提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度、事故の学習を振り返って評価・改善しようとする態度等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
<ol style="list-style-type: none"> 1 学習習慣を確立する。 学校だけでなく自宅での学習も怠らなく取り組むようにしましょう。 2 授業に主体的に参加する。 問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。 3 課題に一生懸命に取り組む。 課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。 4 「分からない」をそのままにしない。 分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。 5 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します。 <p>勉強の仕方 授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。解答を見なくても答案が再現できるように、特に典型的、基礎的・基本的な問題は解法ごと暗記できるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。</p>

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学C	[数学]

履修学科	普通科 理系
履修学年	第3学年
履修単位	数学C (2)
教科書	数学C Standard (東京書籍)
副教材	スタディサプリ

科目目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

学期	考査	単元名 (考査範囲)	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1学期	単元テスト	1章 ベクトル 1節 平面上のベクトル 2節 ベクトルの応用 SDGs 番号 9.産業と技術革新の基盤を作ろう 風の吹き方や物体の移動など、生徒が理解しやすい具体的な事象に即して導入し、物理との関連を図る。そうすることで、さまざまな科学研究のための基礎的な技術能力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの意味、ベクトルの加法・減法・実数倍、ベクトルの成分、ベクトルの内積 位置ベクトル、ベクトル方程式 	○	○	○
	期末考査	3節 空間におけるベクトル 2章 式と曲線 1節 2次曲線 2節 媒介変数表示と極座標	<ul style="list-style-type: none"> 空間のベクトル、空間座標、空間のベクトルの内積、位置ベクトルと空間の図形 放物線、楕円、双曲線、2次曲線と平行移動、2次曲線と直線、2次曲線と離心率 曲線の媒介変数表示、極座標と極方程式 	○	○	○
2学期	中間考査	3章 複素数平面 1節 複素数平面 2節 図形への応用	<ul style="list-style-type: none"> 複素数平面、複素数の極形式、ド・モアブルの定理 2直線のなす角、複素数平面上の図形 	○	○	○
	期末考査	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習 SDGs 番号 4.質の高い教育をみんなに 既習事項を活用し、演習問題に取り組みさせる。そうすることで、社会生活で必要な計算の能力や、論理的思考を育む。また、高等教育を受けることのできる能力を身につけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> 数学I・II・A・B・Cの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項 	○	○	○
3学期	卒業考査	共通テスト対策問題演習 各進路対策問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 数学I・II・III・A・B・Cの教科書の例題相等の基礎、応用、発展事項 	○	○	○

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断 ③技能・表現 ④知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<p>ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・英領・的確に表現する力を養う。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>【評価の対象】</p> <p>提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度、事故の学習を振り返って評価・改善しようとする態度等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

- 1 学習習慣を確立する。
学校だけでなく自宅での学習も怠らなく取り組むようにしましょう。
- 2 授業に主体的に参加する。
問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。
- 3 課題に一生懸命に取り組む。
課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。
- 4 「分からない」をそのままにしない。
分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。
- 5 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します。

勉強の仕方

授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。解答を見なくても答案が再現できるように、特に典型的、基礎的・基本的な問題は解法ごと暗記できるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学Ⅱ	[数学]

科目目標
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

履修学科	総合学科
履修学年	第3学年
履修単位	数学Ⅱ (2)
教科書	高校数学Ⅱ (実教出版)
副教材	高校数学Ⅱスタディノート スタディサプリ

学期	考査	単元名 (考査範囲)	学習内容	評価の観点		
				①	②	③
1学期	単元テスト	3章 いろいろな関数 1節 三角関数	<ul style="list-style-type: none"> 一般角、三角関数、三角関数の相互関係、三角関数の性質、三角関数のグラフ 	○	○	○
	期末考査	2節 加法定理 弧度法 3節 指数関数	<ul style="list-style-type: none"> 加法定理、加法定理の応用、弧度法 指数の拡張、累乗根、指数関数のグラフ 	○	○	○
SDGs 番号 4.質の高い教育をみんなに 番号 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 既習事項を活用し、演習問題に取り組み、生徒同士が教え合う事で知識の共有を進める。そうすることで、計算の能力や、論理的思考を育む。また、高等教育を受けることのできる能力を身につけさせる。						
2学期	中間考査	4節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> 対数、対数の性質、対数関数のグラフ、常用対数 	○	○	○
	期末考査	4章 微分と積分 1節 微分の考え	<ul style="list-style-type: none"> 平均変化率、微分係数、導関数、接線、関数の増加・減少、関数の極大・極小、関数の最大・最小 	○	○	○
SDGs 番号 4.質の高い教育をみんなに 番号 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 既習事項を活用し、演習問題に取り組み、生徒同士が教え合う事で知識の共有を進める。そうすることで、計算の能力や、論理的思考を育む。また、高等教育を受けることのできる能力を身につけさせる。						
3学期	学年末考査	2節 積分の考え	<ul style="list-style-type: none"> 不定積分、定積分、面積 	○	○	○

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>複素数と方程式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考え方についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>【評価の対象】 提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等</p>

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

<p>授業を受けるときの注意事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業に主体的に参加する。 問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。 先生の説明をよく聞き、板書をしっかりとる。 授業のなかで理解できるよう努める。 苦手意識をもつ生徒は予習をして、授業に臨みましょう。 2 課題に一生懸命に取り組む。 宿題は必ず行い、理解できるよう努力しましょう。 課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大切です。 3 「分からない」をそのままにしない。 分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。 4 成績については上記の評価の観点に基づき、授業時の取り組みや成果物、考査等によって総合的に評価します。学期ごとに各観点で評価を出し、学年末に各学期の評価を基に最終成績を各観点別に出します。最終成績の各観点別評価に基づき、評定を出します。
--